



す が お

No.45

養護老人ホーム
松楓園 情報誌

新年度を迎え

二十四年度

方針について

四月より気持ちを新たに新年度がスタート致しました。二十四年度の事業計画は、三つの基本理念を掲げ、七つの運営方針を基に安定した経営の維持と運営の質の向上を図ってまいります。

今年度も継続して第三者評価を受審することで、地域社会から信頼される、期待される施設を目指します。人材育成につきましても、福祉・医療の分野の専門性を

活かした施設内外の研究を強化し、また職員のメンタルヘルスケアの充実も図ってまいります。

更に職員一丸となってリスクマネジメントを取り組むことで、今後益々、処遇困難な利用者の入所の増加に対応できるように利用者一人ひとりの自主自立に向けての安心・安全な支援サービスの提供に努めてまいります。

生活サービス課

課長 内田京子

松楓園基本理念

一、利用者個々の人格・意思を尊重し、利用者の心身の状況とライフスタイルに合わせた支援サービスを提供します。

二、安全で、快適な生活環境の整備に努め、透明性や牽制機能を備えたりリスク管理により、健全な施設経営に努めます。

三、職員の知識・技術の向上を図り、利用者により質の高いサービスを目指します。



松楓園 運営方針

- 1、職員個々の専門性を磨き、信頼されるサービスを提供します。
- 2、安定した経営の維持と運営の質の向上を図り、地域社会から信頼され期待される施設を目指します。
- 3、介護保険の関連機関との十分な連携関係を築き、充実した個別契約型の介護サービスを提供します。
- 4、リスクマネジメント対策の取り組みを強化し、安全で、快適な生活環境作りに努めます。
- 5、第三者評価を受審します。
- 6、安全衛生教育の強化及び職員の健康保持の推進に努め、職場安全衛生水準の向上を図ります。
- 7、法人で取り組んでいる次世代育成支援対策委員会との連携を図り、仕事と子育てを両立させやすい職場環境作りの推進に努めます。

利用者に接する基本姿勢

《接遇5つのS》

【スマイル】笑顔で相手の目を見て、話を聞く事に努める。

【スマート】清潔な身嗜みに心掛け、姿勢を正しく相手に接する事に努める。

【シンパシー】相手の立場になって、相手を思いやる気持ちが持てる様努める。

【スピード】全てにおいて速やか且確実に対応することに努める。

【スタディ】常に向上心・研修心・探究心を持って、業務に取り組むことに努める。

《生活支援サービス5つのS》

【セイフティー】利用者の安全を確保する。

【サティスファクション】利用者の満足度を向上させる。

【サポート】利用者への的確な支援を行う。

【シンシアリティー】利用者に誠実に対応する。

【スキルアップ】介護技術の向上、利用者対応技術の向上を図り利用者の信頼を得る。

健康講座特集



口からはじまる健康づくり

三月五日、東京都西多摩保健所企画調整課保健医療係の歯科衛生士、宇田川京子氏をお迎えし「口からはじまる健康づくり」と題して、口腔ケア講習会を開催しました。

口腔ケア講習会

会場のスクリーンに映し出された写真やイラストを基に、歯と健康の密接な関係を分かり易く説明していただき、口腔ケアの重要性を改めて認識すると共に、歯の磨き方や舌の手入れの方法などを実践しながら学ぶ事が出来ました。

講習会では、発声練習や健口体操、食べる為の準備体操など、楽しく体を動かしながら歯の健康について考えることができました。

一昔前には、歯と健康を関連して考えることはなく、利用者の方々には新鮮な内容として伝わり、今後の生活の中に口腔ケアの大切さを意識する機会となりました。



腰痛予防講習会

のひとつでもあり、施設からは全職員に腰痛予防ベルトが支給されています。より良いサービスの提供には、職員の健康が大切であり、定期的な「腰痛予防講習会」で腰痛の発生メカニズムを学び、柔軟性を養うと共に、介護の基礎を身に付ける事で腰痛を予防していきます。

三月九日、体操教室講師の石井先生・大坪先生より「腰痛予防講習会」として、腰痛予防体操を学ぶことができました。

職員の腰痛予防の為に、先生方の熱のこもった指導に、職員は悲鳴にも似た奇声を発しながらも応え、懸命に柔軟性を磨く事が出来ました。

老人福祉の現場では腰痛予防は重要な取り組み



お花見特集!



4月9日～10日に外出支援の一環として、市内の秋留台公園にお花見に出かけてきました。今年一番の暖かい好天に恵まれ、春の日差しを体いっぱい浴びて春の訪れを満喫してきました。前日までは五分咲きの桜も利用者の方々の到着に合わせて一斉に満開の花びらで迎えてくれました。



外出支援ではチューリップ・つつじ見学など、季節感を満喫できる催しを予定しており、利用者の方々に自然豊かな環境を楽しんでいただいています。



お花見食事会

お花見食事会を四月四日に、松楓会ホールで開催しました。今年はとても寒く長い冬が続き、待ちわびた春の訪れに、皆さん笑顔で会食を楽しんでいました。



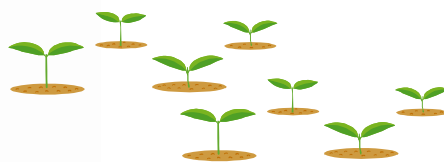
ひな祭り



三月三日のひな祭りには、利用者の方々の可愛らしい手作り雛が施設内に飾られ、ひな祭りの行事食に舌鼓を打ちながら、古き良き風習を楽しみました。



春の種まき



三月になり松楓園では種まきのシーズンを迎え、暖かな日差しの下でジャガイモ・ひまわり・金魚草・ケイトウなどの種植えを行いました。四月になり、既に小さな芽を出した植物もあり、利用者の方々の暖かい目で見守られながら成長しています。

転倒予防

危機管理運営委員会が中心となり、転倒予防に取り組み、その一環として「手作り壁新聞」を毎月掲示しています。職員がモデルとなり転倒の危険がある行動や健康体操などを紹介していますが、手作りの壁新聞はどこか温かさや親しみが持てるので利用者の方々にも好評で、興味を持って見て頂いています。



《行事予定》

五月

端午の節句

菖蒲湯と節句当日に行事食・柏餅を提供し、節句の一日を楽しみます。

チューリップ

つつじ見学

開花に合わせて羽村・根がらみ公園と青梅・塩船観音へ行つて来ます。

六月

全居室移動・害虫駆除

利用者の方々お一人お一人にアンケート調査を行い、快適に生活していただける環境作りを行います。

手洗い講習会

食中毒・感染症予防のために、職員と共に自らの手洗い方法を確認します。

【編集後記】

小鳥のさえずりが耳に心地よく響く季節となり、松楓園でも新たな気持ちで新年度を迎える事が出来ました。「広報誌すがお」も新たな気持ちで初心を忘れずに、利用者の方々の近況をお伝えしていきます!と思っております。

広報誌編集委員会

発行者 社会福祉法人松楓会
 養護老人ホーム松楓園
住所 東京都 あきる野市
 菅生1159番地
電話 042-558-7010 (代)
<http://www.showhoen.jp/>